

※対象品番は裏表紙の仕様欄を参照ください



お願い

ご使用の前に検知範囲、点灯保持時間などの調整が必要です。説明書を必ずお読みください。

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。ご使用前に「安全上のご注意」(表紙)を必ずお読みください。この取扱説明書は大切に保管してください。施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、販売店、工事店に依頼してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



実行しなければならない内容です。

警告



必ず守る

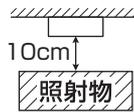
●異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店または別紙お客様ご相談窓口にご相談ください。



必ず守る

●照射物近接限度内にドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかない
ように注意する

照射物近接限度 10cm
(ドア・家具・布等の可燃物)



守らないと、照射物の変色、火災のおそれがあります。



分解禁止

●器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

注意



必ず守る

●照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。
◎1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。

●お手入れの際は、電源を切る
通電状態で行うと感電の原因となることがあります。



必ず守る

●本体の取り外しは販売店、工事店に依頼する
本体の取り外しには資格が必要です。



禁止

●温度の高くなるものを器具の真下に置かない
火災の原因となることがあります。

◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

●LEDを直視しない
目の痛みの原因となることがあります。

ご使用方法について

お知りになりたい内容に応じてご参照ください

■ご使用方法により選べる点灯動作
【センサによる点灯】【連続点灯】については

☞『点灯動作について』(6ページ)

■センサによる点灯動作を変更する場合は

☞『各部のなまえと動作設定』(5ページ)

■センサの検知範囲の確認、エリアカットをする場合は

☞『センサの検知範囲とエリアカット』(6ページ)

■点灯動作に異常を感じた場合は

☞『故障かな?と思ったら』(7ページ)

■ご使用上に関するお知らせ、器具のお手入れ、仕様(品番、定格など)は

☞裏表紙

●ペア点灯などの設置状態、センサの動作設定については施工した販売店・工事店にご確認ください。

■施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様にお渡しください。
 ■施工説明に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
 ■お客さまと打ち合わせのうえ、器具の取付位置、センサによる点灯動作の設定を行ってください。

施工説明 (2~4ページ)

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

■取付面

●次のような場所には取り付けない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

・補強のない場所 ・掘込天井 ・壁面



・傾斜した場所 ・不安定な場所 ・床面



◎この器具は水平天井面取付専用です。

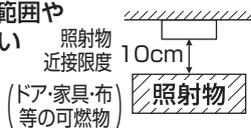


禁止

●メタルラス張り、ワイヤラス張り、金属板張りの造営材に器具を取り付ける場合は、器具の金属部と絶縁をとる木ネジ、器具本体とメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように取り付けてください。守らないと、漏電した場合、火災のおそれがあります。

●照射物近接限度内にドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかないように考慮して取り付け

守らないと、照射物の変色、火災のおそれがあります。



必ず守る

■壁スイッチ

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する

火災のおそれがあります。

◎調光器の取り外しが

必要です。



必ず守る

■その他

●器具の取り付けは、説明書に従い確実に

取り付けに不備があると火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

●交流100ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

●電源線・送り線は端子台の差込み穴の奥まで確実に差し込む

差し込みが不完全な場合、火災、感電のおそれがあります。

●本体が電源線・送り線を

かみこんでいないことを確認する

不備があると火災、感電のおそれがあります。

注意

●温度の高くなるものの上に取り付けない

火災の原因となることがあります。

◎レンジ等温度の高くなるものの上に取り付けしないでください。

●油煙や湯気が当たるような場所に取り付けない

火災、故障の原因となることがあります。

◎ガスコンロ、湯沸し器などの真上に取り付けしないでください。



禁止



水ぬれ禁止

●浴室など湿気の高い場所や屋外で使用しない

火災、感電の原因となることがあります。

◎この器具は防湿、防雨型ではありません。

●器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する

けがのおそれがあります。

●配線図通りに接続する

器具破損のおそれがあります。



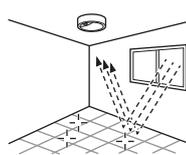
必ず守る

施工前のご確認事項

【取付場所についてのご注意】

●次のような場所には取り付けしないでください。
 この器具は、周囲の明るさと温度変化をセンサで検知して動作するため、右のような場所に取り付けると誤動作の原因となります。

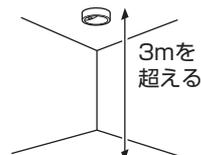
✕ 反射の強い床面のある場所



✕ 風などでよくゆれるカーテンや植物の近くなど



✕ 取り付け高さが3mを超える場所



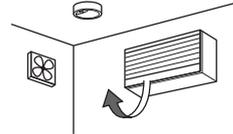
✕ 温風ヒーターなどがあり急激に温度変化するところ



✕ 他の照明器具や壁に近い場所



✕ エアコンの吹き出し口、換気扇の近く



【壁スイッチについて】

- 必ず壁スイッチを設けてご使用ください。(スイッチは別途ご用意ください)
 - ・連続点灯への切り替え操作ができません。
 - ・センサによる点灯モードに異常が発生したとき、リセットできません。
- ほたるスイッチと接続する場合は1回路につきスイッチ3個まででご使用ください。(4個以上のほたるスイッチと接続すると、スイッチを切にしても器具が消灯しないことがあります。)
- パイロットスイッチを使用の場合、壁スイッチがON状態でも器具がセンサ待機(消灯)状態のとき、スイッチの表示が点灯しないことがあります。

各部のなまえと取り付けかた

安全のため、電源を切ってから行ってください

- 器具の取り付けは、手袋など保護具を使用してください。

取り付け前のご準備

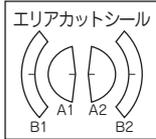
- ・カバーを本体から取り外す



付属部品

施工する前にまず付属部品をご確認ください

- 木ネジ(2本) (本体内に収納しています。)
- エリアカットシール(1枚) (取説に貼り付けています。)

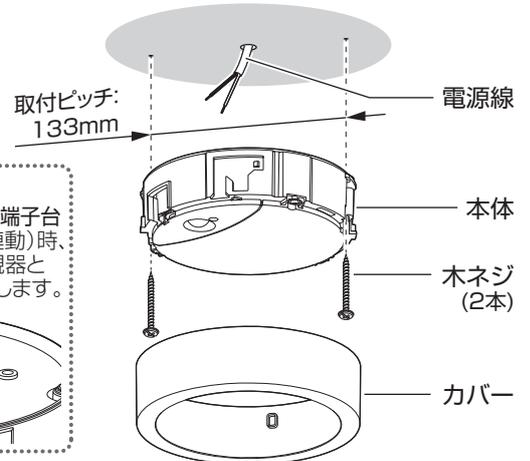
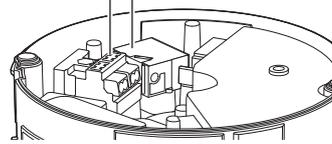


※エリアカットシールの使いかたは
⑥6ページ「センサの検知範囲とエリアカット」参照

【本体裏面】

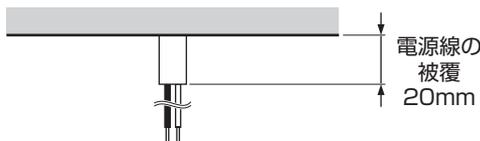
電源用端子台
・送り付き
(送りは指定の
照明器具専用)

センサ連動用端子台
・ペア点灯(連動)時
・子器、別の親器と
接続します。

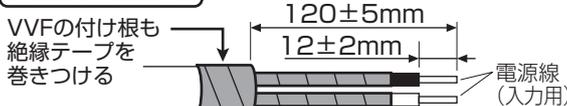


1 電源線を加工する (送り配線する場合、送り線も同様の加工をしてください。)

- ・適合電線 VVFφ1.6単線推奨
- ・VVF外被から絶縁テープを巻き付ける。



単独で使用する場合



※先端5~10mmはテープを巻き付けしないでください

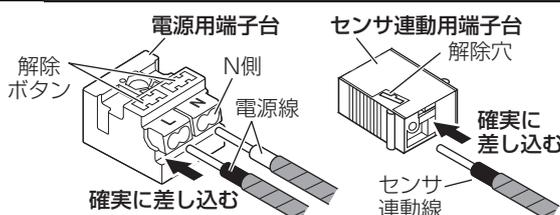
別のセンサ器具、複数台のセンサなし器具を連動させる場合

電源入力用以外の電線を準備する。
④『ペア点灯について』(4ページ)を参照
※電線のむき代、テープ巻きは同様にしてください。

(注意)

- ・VVFφ2.0は電線が硬いため、器具が浮き上がり、正しく設置できない場合があります。

2 端子台に電源線・センサ連動線・送り線を接続する

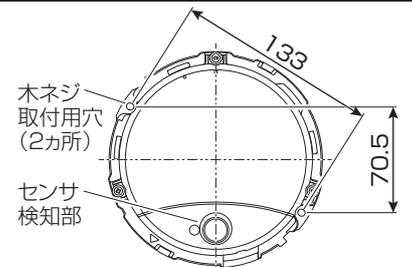


器具の取り替え等で電源線を外す場合

<電源用端子台> マイナスドライバー等で解除ボタンを押しながら電源線を引き抜く。
<センサ連動用端子台> マイナスドライバー等を解除穴に差し込みながら電源線を引き抜く。

3 付属の木ネジ(2本)で本体を取り付ける

- ・取付ピッチ：133mm
 - ・木ネジ取付用穴とセンサ検知部の位置関係は右図のようになります。
- ①天井内に電源線・送り線を押し込みながら、本体を天井面に押し付ける。
 - ②木ネジ(2本)を確実に締め付け、本体を固定する。



警告



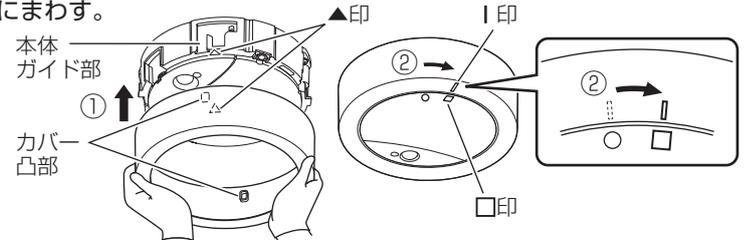
本体が電源線・送り線をかみこんでいないことを確認する
不備があると火災、感電のおそれがあります。

4 検知範囲を確認する

- ・センサのダイヤル設定を「7」(切-10秒)にして検知範囲と点灯動作を確認する。
⑤『各部のなまえと動作設定』(5ページ) 参照
確認後、お客様が希望されるセンサ動作モードに設定ください。
⑥『点灯動作について』(6ページ) 参照

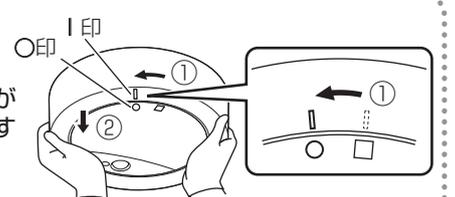
5 カバーを取り付ける

- ①▲を合わせてカバー凸部を本体のガイド部へ押し上げる。(カバーの▲印と凸部は内側にあります。)
- ②両手でカバーを支え、本体の□印にカバーの|印が合うまでカバーを右にまわす。



カバーの取り外しかた

- ①両手でカバーを支え、本体の○印にカバーの|印が合うまでカバーを左にまわす
・カバーを少し持ち上げるようにすると回転しやすくなります。
- ②カバーを外す



ペア点灯について

別の照明器具と接続し、複数の器具と連動させて点灯させることができます

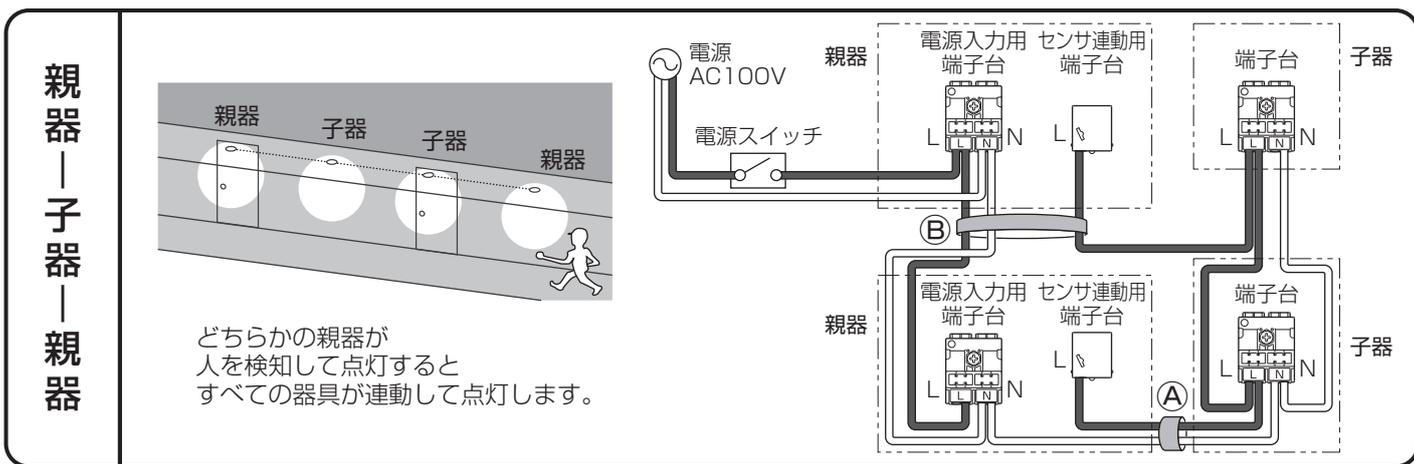
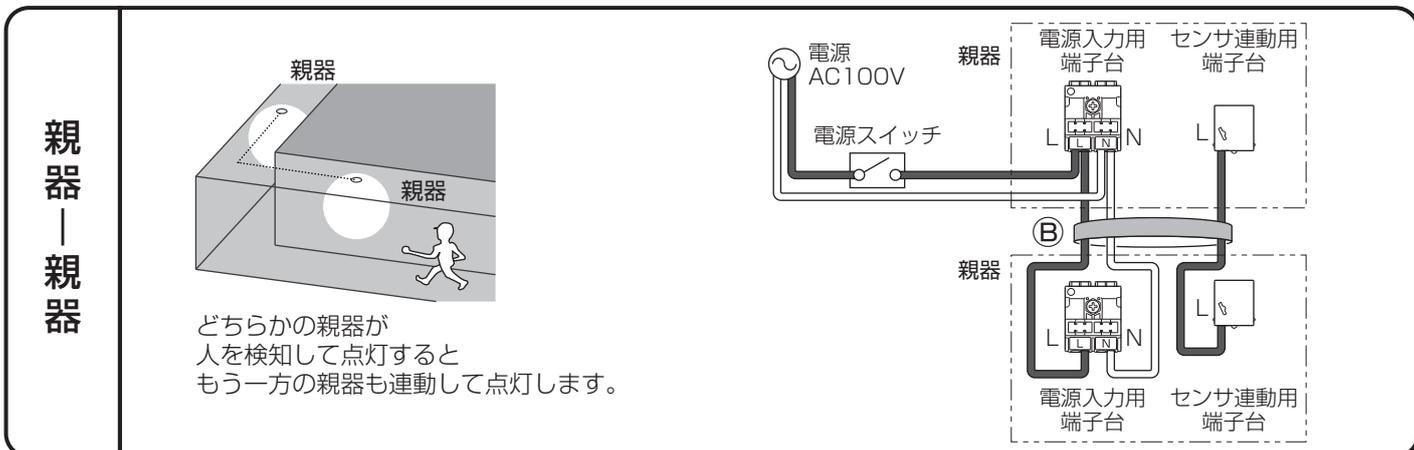
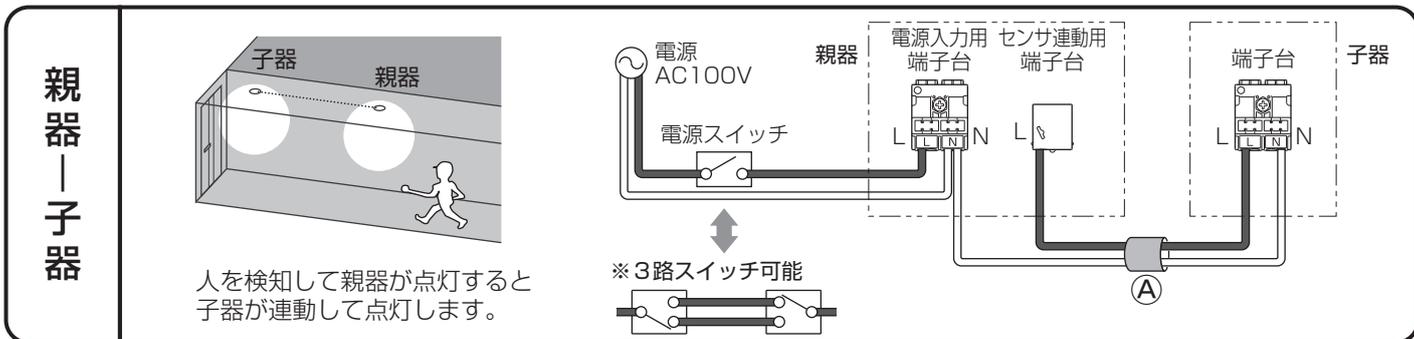
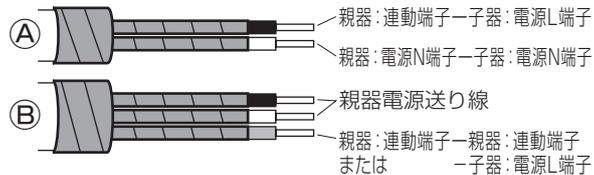
ペア点灯する対象負荷について

- 親器 (センサ付器具) : 指定のセンサ付器具最大1台まで接続可能です。指定のセンサ付器具は『仕様』(裏表紙)に記載の器具です。
- 子器 (センサなし器具) : 品番、台数は下記Webサイトで確認ください。

FreePaペア点灯型 接続子器品番表 <https://www2.panasonic.biz/jp/lighting/home/lightingsensor/>
「屋内用・軒下用 FreePa ダウンライト・ダウンシーリング (ONOFF型)」

配線についてのご注意

- 連動させたい組み合わせに対応した配線図に従って正しく接続ください。
- 壁スイッチ(3路スイッチを含む)は1台目の親器の入力側に設置ください。



点灯動作・検知範囲の確認

- すべての親器のセンサのダイヤル設定を『7』(切-10秒)にして検知範囲と点灯動作を確認する。
☞5ページ『各部のなまえと動作設定』参照

- 誤結線した場合**
- 正常動作しない場合、配線、結線に間違いがないか確認ください。
 - 1秒間に2回の点滅動作(誤結線検知機能)する場合は再使用可能です。
 - 上記以外は器具が破損している場合があります。

- 確認後、すべての親器をお客様の希望されるセンサ動作モードに設定し、ご説明ください。

連動時の点灯動作について

- 最初に人を検知した親器の動作に合わせて、遅れて(約0.5秒)子器・その他の親器が点灯します。消灯も同様です。
- すべての親器のセンサのダイヤルの設定を合わせてください。設定が異なる場合は、最初に動作した親器のダイヤル設定の状態が優先されます。

使いかた

各部のなまえと動作設定

注意：複数台の親器を連動させる場合はすべての親器のダイヤル設定を同一設定にしてください

ダイヤル

・使いかたに合わせて、設定してください。

▼マーク
▼ダイヤル

設定したい番号に合わせる。
カチッとする感触があります。

ダイヤルの一部は切り欠いた形状になっていますが、不良ではありません。

ひとセンサ検知部

- 人の動きによる温度変化を検知します。(傷つけたり、汚したりしないでください。)

本体

明るさセンサ検知部

- 周囲の明るさを検知します。(傷つけたり、汚したりしないでください。)

カバー

- 取り外し・取り付けかたは 3ページ「各部のなまえと取り付けかた」手順 5 参照

表示ラベル

No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	暗	明	切						
	10秒	1分	3分	10秒	1分	3分	10秒	1分	3分
	点灯する周囲の明るさ			点灯保持時間(分)					

Ⓐ 調整ダイヤル番号

- 点灯する周囲の明るさと点灯保持時間の組み合わせが設定できます。

Ⓑ 点灯する周囲の明るさ

- 点灯する周囲の明るさを設定できます。
「暗」：周囲が暗い状態 (約5 lx)
「明」：周囲が少し明るい状態 (約25 lx)
「切」：周囲の明るさに関係なく人を検知すると点灯

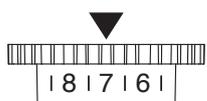
Ⓒ 点灯保持時間

- 人が検知範囲からいなくなってから消灯するまでの時間を約10秒、約1分、約3分の中から設定できます。

1 検知範囲を設定する 昼間でも設定できます

【手順】

- ① 壁スイッチをOFFにする
- ② ダイヤルを『7』(切-10秒)に設定する
- ③ 壁スイッチをONにする
- ④ センサの検知範囲の外に出る
 - ・照明が約40秒間点灯してから消灯します。
- ⑤ 照明が消灯したら器具に近づき、検知範囲を確認する
- ⑥ 検知範囲を変更したい場合は、付属のエリアカットシールを貼り付ける
 - 6ページ「センサの検知範囲とエリアカット」参照



消灯しない場合は以下の原因が考えられます。

- ・センサの検知範囲に入っている ⇒ センサの検知範囲から外に出る
- ・連続点灯になっている ⇒ 壁スイッチを一度OFFにし、5秒以上おいて、再び壁スイッチをONにする

2 使いかたに合わせてダイヤルを設定する

・ひとセンサがはたらきはじめる周囲の明るさ(明、暗、切)、人が検知範囲からいなくなってから消灯するまでの点灯保持時間(約10秒、約1分、約3分)を設定する。
下表を参照してください。

点灯する周囲の明るさ	暗	明	切
	調整ダイヤル番号 点灯する周囲の明るさ 点灯保持時間	調整ダイヤル番号 点灯する周囲の明るさ 点灯保持時間	調整ダイヤル番号 点灯する周囲の明るさ 点灯保持時間
選べる動作	ダイヤル番号	ダイヤル番号	ダイヤル番号
	点灯する周囲の明るさ	点灯する周囲の明るさ	点灯する周囲の明るさ
	点灯保持時間	点灯保持時間	点灯保持時間
	ダイヤル番号	点灯する周囲の明るさ	点灯保持時間
ダイヤル設定例	『2』の場合	『4』の場合	『9』の場合
	周囲が暗く(5 lx以下)、人が近づいた場合点灯。人が検知範囲から出て約1分で消灯。明るいときは点灯しません。	周囲が少し明るく(25 lx以下)、人が近づいた場合点灯。人が検知範囲から出て約10秒で消灯。明るいときは点灯しません。	周囲の明るさに関係なく、人を検知すると点灯。人が検知範囲から出て約3分で消灯。

<ご注意> 検知範囲に人がいても静止している場合、設定保持時間後、消灯します。

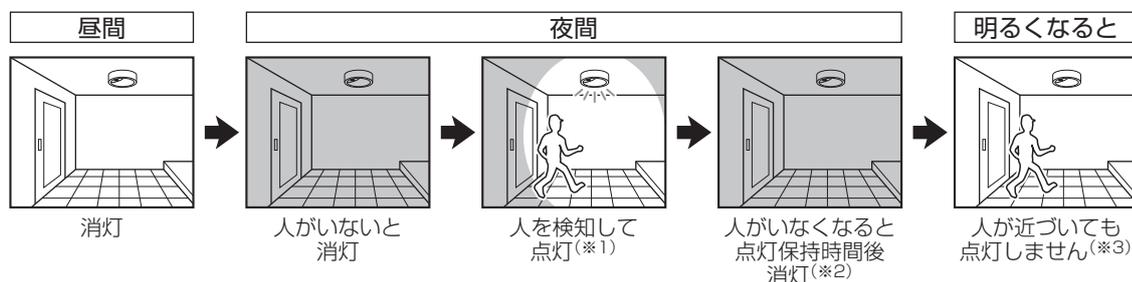
点灯動作について

センサによる点灯

●壁スイッチは常時ONで使用してください。

壁スイッチをONにした直後は、周囲の明るさに関係なく照明が点灯し、約40秒後に消灯します。
(明るさセンサは、壁スイッチをONにしてから約40秒後にはたらきはじめます。)

●センサにより、暗い時に人を検知すると点灯します（出荷時）



※1) 点灯する周囲の明るさは、『暗』(約5 lx)と『明』(約25 lx)が選べます。

※2) 人がいなくなってから消灯するまでの時間は、約10秒、約1分、約3分が選べます。

※3) 周囲の明るさに関係なく人を検知すると点灯する設定もできます。

●センサによる点灯動作の設定は 5ページ『各部のなまえと動作設定』を参照して行ってください。

連続点灯（人がいないときでも点灯したままにする）

●周囲が暗い時に壁スイッチ操作で、連続点灯になります。（最長15時間）

(☞ 下記「連続点灯への切り替えかた」参照)



メモ

- ダイヤルで設定した明るさより、周囲が暗いときに連続点灯への切り替えができます。周囲が明るいときに連続点灯させたい場合はダイヤルを「明」または「切」にします。
- 連続点灯は、最長約15時間です。約15時間連続点灯後は、自動的に消灯し、センサによる点灯に切り替わります。
- 約1秒以内の短い停電(瞬時停電)が起こった場合には意図せず点灯状態が切り替わることがあります。

連続点灯への切り替えかた

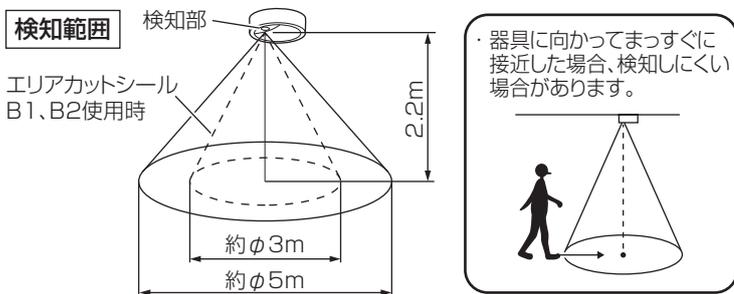
壁スイッチがONの状態から素早く(約1秒以内に)OFF→ONにする

センサによる点灯への切り替えかた

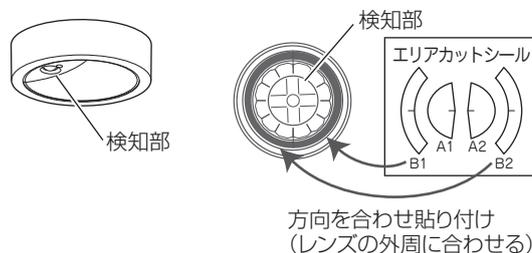
もう一度、壁スイッチがONの状態から素早く(約1秒以内に)OFF→ONにする

センサの検知範囲とエリアカット

●センサはおおよそ下図の「検知範囲」で検知します。



●検知範囲は、付属のエリアカットシールを貼り付けることで狭くできます。



<ご注意>

- ・この器具のセンサは、熱源の温度変化を動きとしてとらえます。そのため、動物など人以外の動きも検知して照明が点灯する場合があります。また、静止状態の人などは検知しない場合があります。
- ・検知範囲は気温、服装、移動速度、進入方向、体温、器具の取り付け高さや傾きなどにより大きく変化します。
- ・夏場など、気温が体温に近い状態になると、温度変化が小さいため検知しない場合があります。
- ・センサの性能上、器具に向かってまっすぐ近づいた場合、器具の近くまで近づかないと検知しないことがありますが、器具の故障ではありません。
- ・検知範囲の外周部分は場合により検知しにくいことがあります。

故障かな?と思ったら

下表に従って点検してください

現象	考えられる原因	処置	参照ページ
検知範囲に入っても点灯しない	壁スイッチ(電源)がOFFになっている	壁スイッチをONにする	—
	設定した明るさより、周囲が明るい	ダイヤルを「明」に設定する	5ページ 「各部のなまえと動作設定」
検知範囲が小さい	エリアカットシールが貼り付いている	エリアカットシールを取り外す	6ページ 「センサの検知範囲とエリアカット」
	検知部が汚れていたり蒸気などの水滴がついている	検知部を柔らかい布で傷がつかないようにふきとる	—
	暑い日などに周囲温度と人体の温度差が少ない	本センサは人の動きによる温度変化を検知するため左記の場合検知しにくいことがあります	6ページ 「センサの検知範囲とエリアカット」
	センサに向かってまっすぐに接近した		
検知範囲に入っていないのに点灯する	検知範囲に人以外の熱源がある 風などでよくゆれる物(カーテン、植物) ストーブなどの暖房器具、 加湿器等の蒸気	エリアカットシールを貼り付けて 検知範囲を狭くする 熱源を検知範囲より動かす	6ページ 「センサの検知範囲とエリアカット」 —
	強力な電波、誘導雷サージなど 電氣的雑音を受けたとき	点灯保持時間後、消灯します (故障ではありません)	—
	壁スイッチをONした直後	壁スイッチON後、約40秒は必ず点灯します	—
人がいなくなってもなかなか消灯しない または消灯しない	点灯保持時間が長く設定されている	点灯保持時間を短く設定する	5ページ 「各部のなまえと動作設定」
	壁スイッチを「OFF」にし、約1秒以内に「ON」にした、または、約1秒以内の瞬時停電があった(連続点灯状態)	壁スイッチを素早く(約1秒以内)OFF→ONしてセンサ動作に切り替える	6ページ 「連続点灯」
周囲が明るいのに検知範囲に入ると点灯する	ダイヤルが「明」または「切」になっている (器具設置環境により異なります)	ダイヤルを「暗」に設定する	5ページ 「各部のなまえと動作設定」
検知範囲に入っているのに消灯する	人が静止している(動きが小さい)	少し動けば点灯します	6ページ 「センサの検知範囲とエリアカット」
	点灯保持時間設定が短い	点灯保持時間を長く設定する	5ページ 「各部のなまえと動作設定」
検知しにくいときがある	室温が高くなり、人と床面の温度差が小さい	温度変化量を検知しますので、温度変化が小さい場合、検知しにくくなります	6ページ 「センサの検知範囲とエリアカット」
連続点灯しない	設定した明るさより周囲が明るい	ダイヤルを「明」または「切」に設定する	5ページ 「各部のなまえと動作設定」
設定時間通りに消灯しない	ダイヤルが適切な位置で止まっていない	ダイヤルを「カチッ」とするまでまわす	—
	ペア点灯で複数台の親器が接続されておりダイヤル設定が同一設定になっていない	親器のダイヤル設定を統一する	5ページ 「各部のなまえと動作設定」
ペア点灯で遅れて点灯する器具がある	1台の親器が検知動作すると他の器具は約0.5秒遅れて点灯します。消灯も同様です 電源投入時は、子器が約2秒遅れて点灯します	正常動作で故障ではありません	—

上記の処置を行っても現象が続く場合

- ①電源をいったん切る
- ②約5秒以上経ってから再び電源を入れる

●上記の点検でなお異常がある場合には、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店、別紙お客様ご相談窓口にご相談ください。

ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

【 器具自体の留意点 】

- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- LEDにはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- LEDが点灯しない場合は、電源を切り、販売店、工事店、または別紙お客様ご相談窓口にご相談ください。
- LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。
- 壁スイッチにパイロットスイッチを使用した場合、スイッチがON状態でもセンサ待機（消灯）状態のときにパイロットスイッチの表示が点灯しない場合があります。

【 周囲の影響 】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- 器具のきわめて近くでは、リモコン機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなる場合があります。

お手入れについて

電源を切って、灯具が冷めてから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。
- 汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
- 検知部（☞『各部のなまえと動作設定』（5ページ）参照）が汚れますと、センサの感度が鈍くなります。定期的（6カ月に1回程度）にやわらかい布で清掃してください。

確認

シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

仕様



器具のラベルをご参照していただき、品番にチェックをしてください。

品番			カバー色	使用電圧	周波数	消費電力	入力電流
光色：昼白色	光色：温白色	光色：電球色					
<input type="checkbox"/> LGBC58020LE1	<input type="checkbox"/> LGBC58021LE1	<input type="checkbox"/> LGBC58022LE1	ホワイト	AC100V	50/60 Hz 共用	8.1W (センサ待機時 約0.6W)	0.13A
<input type="checkbox"/> LGBC58025LE1	<input type="checkbox"/> LGBC58026LE1	<input type="checkbox"/> LGBC58027LE1	ブラック			6.2W (センサ待機時 約0.6W)	
<input type="checkbox"/> LGBC58030LE1	<input type="checkbox"/> LGBC58031LE1	<input type="checkbox"/> LGBC58032LE1	ホワイト			0.1A	
<input type="checkbox"/> LGBC58035LE1	<input type="checkbox"/> LGBC58036LE1	<input type="checkbox"/> LGBC58037LE1	ブラック				

- LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。（照明器具の寿命とは異なります。）光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。